

2019

# 同友しずおか 9

VOL.490

私の逸品

(株)サカグチャ

希少な静岡県産大豆を  
使用した豆腐『匠シリーズ』



御殿場の味

坂口屋の  
手造り逸品



静岡県中小企業家同友会

# 同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。



## 中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

### 同友会3つの目的

1

#### よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2

#### よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3

#### よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

●社長はいつも孤独

●経営の成功体験しか聞けない

●目の前の仕事に追われる毎日

●指示待ち社員ばかり

●経営の悩みを相談する仲間ができた

●失敗談から勇気とヒントをもらえた

●将来の会社のビジョンができた

●自発的な社員が増えた

その答え、  
**同友会にありました。**

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる  
悩み、解決へのヒント、将来への展望。  
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130

## 2019年度 活動方針

### ◆企業づくり

- I. 経営指針を成文化し、すべての人が生きる企業をつくろう
- II. 経営者と社員が共に育つ企業風土を確立し、時代の変化に対応できる強靱な企業になろう

### ◆地域づくり・経営環境づくり

- I. 中小企業振興基本条例の学びを深め、地域づくりの推進役となる
- II. 関係機関との連携を深め、経営者の声で経営環境を整えよう

### ◆同友会づくり

- I. 仲間づくりを推進し、1200名会勢を早期に実現しよう
- II. 真の経営課題に気づく学びあいにより、活力ある同友会をつくろう
- III. 同友会理念の学びを深め、実践で語れる会員を増やそう

## 新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1090 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
こまつ 俊之 とし ゆき	(有)ビッグ・ハート 保険代理業(生保・損保代理店)	沼津	藤原 博美
わたなべ 明義 あき よし	渡邊資源(株) 古紙リサイクル業(製紙原料商)	富士	大竹 政彦
はやふじ 早藤 智史 さと し	(株)ウィズアイ・エージェント 保険業(損害保険、生命保険)	富士宮	伊藤 洋子
よしむら 吉村 隆 たかし	(有)東海金属 非鉄金属スクラップ、リサイクル(非鉄金属スクラップ・回収・選別・販売、モーター解体)	富士宮	平野 聖
さいとう 齊藤 篤 あつし	ケイエスマルオート オートバイ販売(新車・中古車)、修理、整備(カワサキオートバイ専門店、メンテナンス、修理、車検、点検)	静岡	浅原 聡子
やまむら 山村 直樹 なお き	山村社会保険労務士事務所 社会保険労務士(社会保険労務、人事制度・賃金制度 導入支援、人事・労務管理に関する相談・調査、就業規則等の諸規程の作成・見直し・提案、社会保険・労働保険 事務手続代行・相談、各種セミナー企画・運営)	静岡	大戸 利之
いけや 池谷 俊昭 とし あき	(株)島田自動車学校 教育、学習支援(教習所)	志太	小寺 敬二
あおの 青野 真久 まさ ひさ	(有)協和消防機商会 消防設備業(消防設備全般、設計・施工・点検)	榛南	三輪 雅則

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。



## 希少な静岡県産大豆を使用した豆腐 『匠シリーズ』

(株)サカグチヤ (御殿場支部)

常務取締役 杉山 嘉彦氏

創業時の店舗が〇〇だったから？

社名の「サカグチヤ」の由来は

（株）サカグチヤは、今年で創業98年目、2年後の2021年に創業100年を迎えます。昭和25年、(有)坂口屋に法人化し、平成2年の3代目芳三代表取締役の時に現在の社名となりました。現在の本社は、御殿場市市場工業団地の一角に立派な社屋があります。創業時の社屋は市内の坂の入口に位置する所に店舗を構えており、そこが地元では「坂口の豆腐屋さん」と親しまれていたため、「サカグチヤ」の由来になったと言われています。このことからわかるように、昔から地元で大変親しまれながら成長してきたお店であり、地元飲食店・市場・JAなどへの提供だけでなく、御殿場市の学校給食にも国産大豆を使用した豆腐を提供しています。また、豆腐だけでなく油揚・蒟



蒟製菓業を営んでおり、売上構成が豆腐32%・油揚66%・蒟蒻2%と、実は油揚げがメインとなりつつある中、近年では、大手食品企業や調味料メーカーなどのコラボにより、豆腐の売上も上がってきているそうです。

同志会入会のきっかけ

杉山嘉彦氏は大学卒業後、12年間地元の信用金庫に勤めていましたが、7年前に代表取締役の杉山芳三氏及び実父である専務取締役の杉山任男氏からの『今後会社の更なる発展のために一緒に頑張ってみないか』というストレートな言葉に心打たれ入社を決意したとのことでした。しかし、入社してしばらくは仕事を覚えることに精一杯であり、数年経過し常務取締役に上がったころ、現場の仕事に打ち込むあまり経営者としての知識がほとんどないのではないかと、この不安に駆られるようになったそうです。そんな時に小中学校と地元の消防団の大先輩である勝又薫氏（(有)勝又造花店 御殿場支部）に「同志会で一緒に勉強しないか」という誘いを受け、入会を決意しました。

私の逸品 静岡県産大豆フクユタカ 使用 匠きぬ・匠もめん・極旨生揚

この商品は地元静岡県の遠州地方で栽培されている希少な「静岡県産大豆フクユタカ」を使用した逸品です。全国の大豆収穫量の0.65%程度しか



杉山 嘉彦氏 (右から二番目)

大変希少な静岡県産大豆を問屋を通じて契約栽培・買取し、昔ながらの製法で職人が1つ1つ丁寧に手作業で作られています。同社ではこれらの逸品をはじめとした「地産地消」を謳った商品を開発・販売しており、味や触感が他の製品とは一味も二味も違うので、是非ご賞味ください。

今後の展望と取組について

豆腐製菓業は斜陽産業の代表的存在に挙げられることもあり、平成元年に22,740軒あった同業者の数も平成25年には8,017軒に減少し、現在は6,000軒を割っているのではないかと状況です。年々1割近く廃業を余儀なくされている厳しい状況ですが、杉山氏はこれをチャンスと捉えています。『匠シリーズ』を初めとした高品質で差別化を図った商品の展開、消費者のライフスタイルに合わせてスーパーだけでなく成長著しいドラッグストアへ販路拡大する営業力、他にも業務用商品の開発や他調味料メーカーとのコラボ商品の開発等さまざまな挑戦をして成長していきたいと考えていると話してくれました。



杉山 嘉彦氏

### 株式会社 サカグチヤ

〒412-0047 御殿場市市場2-19  
TEL: 0550-82-0170  
URL: <http://www.sakagutiya.com>

創立 1921年 設立 1950年  
社員数 48名 (パート含む)  
入会年月 2017年8月  
事業内容 豆腐・油揚・蒟蒻等製造業

取材: 長島和彦氏 (株)長島文宝堂  
取材: 勝又茂生氏 (株)勝又製茶  
取材: 鈴木翔也氏 (株)トップ (御殿場営業所)  
撮影: 勝間田誠氏 (株)文化堂

集客に繋がるツールを総合的に

デザインする

トータルデザイン

伊藤 丈太郎氏 (富士支部)



伊藤 丈太郎氏

1年間で見えた自社の方向性

同友会に入会したきっかけは、他団体を通じて知り合った西村知浩氏(株)ウェッジ・富士支部)から紹介してもらい「西村さんが紹介してくれるのなら」と思い例会を見学したところ、経営指針の大切さを痛感。自分の会社に合う経営指針を作ってみたいと思い入会したそうです。

会社設立当初は名刺・パンフレット・チラシ等の印刷物を手がけていましたが、会社を設立して1年が過ぎた頃に会社の方向性(自分がやりたいこと)が見えてきたそうです。

伊藤氏は自社の方向性について「現在はホームページを中心に運動したSNS・ロゴ・デザイン動画などを作成している、自身が得意とする温かみのあるデザインを生かした『集客のできるホームページ』づくりをメインに仕事をしていきたい」と話してくれました。

気仙沼大島での共同生活を通して

先日、豊かな自然を有した宮城県気仙沼市の気仙沼大島を舞台に『生懸命生きることの大切さ』『キズナの大切さ』を学ぶキズナ無限の島の宿泊研修に参加したそうです。研修地の大島は、2011年3月の東日本大震災で甚大な被

**Total Design** トータルデザイン  
伊藤氏がデザインした自社のロゴマーク

WEED

代表取締役  
西村 知浩  
Tomohiro Nishimura

株式会社 ウェッジ  
〒417-0055  
静岡県富士市永田町 1-61  
電話・0545-55-5022  
FAX・0545-55-5023  
wed.co.jp

私たちは世界一の健康水の探求と開発を考える企業です  
We are the company that thinks of the World's best health Water Exploration and Development.

伊藤氏がデザインした名刺

てもう一つは自分の仕事に近い広報委員会の活動だそうです。ぜひ同友会の様々な活動に参加して自社の発展につなげて頂きたいと感じました。

取材・撮影：渡邊 正仁氏  
(南丸之工務店・富士支部)

先曰、豊かな自然を有した宮城県気仙沼市の気仙沼大島を舞台に『生懸命生きることの大切さ』『キズナの大切さ』を学ぶキズナ無限の島の宿泊研修に参加したそうです。研修地の大島は、2011年3月の東日本大震災で甚大な被災を受けた。伊藤氏は語り及、このように若いながらも地域に寄り添い積極的にボランティア活動に参加する伊藤氏に今後同友会でやりたいことを伺ったところ、一つは経営理念・経営指針の作成、そし

今回は2019年4月に入会したばかりの若手経営者、伊藤丈太郎氏(トータルデザイン・富士支部)にお話しを伺いました。トータルデザインでは伊藤氏のデザイン力を生かし、名刺・動画作成・パンフレット・チラシ・ホームページ作成などを行っています。

実家の印刷会社から独立、デザインの道へ

伊藤丈太郎氏は大学の経営学部を卒業後、塾講師として2年間働

いていました。しかし、母の病気がきっかけで、父が母と二人三脚で営んでいた実家の印刷会社に入社することになります。そこで印刷の仕事をしながら、時代の流れとともにパソコンを使った仕事を独学で勉強しはじめます。その後印刷会社は弟に任せ、2018年7月にHP作成を主とした事業で独立、トータルデザインを創立しました。

トータルデザイン

〒419-0205 富士市天間1130-5  
TEL : 090-3509-9687

創立 2018年7月  
入会年月 2019年4月  
事業内容 名刺、動画作成、パンフレット、  
チラシ、ホームページ

会員訪問記

保険を通じて「安心」して「充実」した人生をサポートする

(有)安心総合保険事務所  
専務取締役 戸田 正人氏 (中遠支部)



戸田 正人氏

磐田市の閑静な住宅地にある(有)安心総合保険事務所の戸田正人氏を訪問しました。戸田氏は現在、同社の専務取締役として社長である父を支えています。

利用する人に「安心」を届ける

創業は戸田氏が小学生だった昭和

和50年。創業者である父は会社員でしたが、知人が廃業するという保険代理業を引き継ぎ母と二人で開業。当時はまだ自動車の任意保険に加入する人も少なく、加害者・被害者双方が「安心」できるよう自動車保険を広めたいとの思いを社名に込めました。当時はモーターゼーション時代の波に乗り、自動車保険や火災保



険を中心に販売し、順調に会社を大きくしていきます。平成になると弟が入社。経営は順調でしたが、社長も高齢になり、増大する業務量への対応が難しくなったため戸田氏が一念発起。地元の有名楽器メーカーを退職し、他の保険会社での修業を経て平成21年に入社し、現在に至っています。

生命保険に注力するようになったきっかけ

同社の主力は損害保険ですが、戸田氏が注力しているのは生命保険。前職時代に生命保険に対して苦い経験があったさうで、その為当初は生命保険を扱わず予定は無かったようです。しかし、入社した保険会社からの指導で生命保険の勉強を始めたところ、それまでの生命保険に対するイメージは誤解であったことに気づき、法人向

けへの提案を中心に生命保険の販売をはじめたとのこと。しかし、リーマンショックを機に状況が一変し、法人向けの生命保険が売れなくなり、数年間契約がほぼゼロ状態に。初心に帰って改めて一から生命保険を勉強し直し、個人のお客様へ愚直に生命保険の大切さをお伝えするという当たり前の行動を続けてきた結果、今では生命保険収入が代理店内で大きなウェイトを占めるまでになったそうです。

稼業から企業へ

戸田氏はお客様と向き合う際、社会保険を切り口に保険の重要性を説きます。「若い人は年金がありません。若くはないと思ってる。当社のソフトで年金や給付金の金額を試算し、こんなにももらえるよと説明しています」と戸田氏。なお、

不足する部分を保険で準備することで「安心」して充実した人生を歩んでほしいとの思いで業務に励んでいると話してくれました。提案根拠をしっかりと示すことが大切だという戸田氏の姿勢はどこまでも誠実です。

今後の課題は仕組みづくり。顧客獲得をシステム化し、入社した誰もがしっかりと契約をお預かりできるようにすることが目標です。入社当時より「稼業から企業へ」を目指し挑戦を続けています。その人柄とお客様と誠実に向き合う姿勢で地域に「安心」を届け続ける戸田氏の今後に注目です。

鈴木 弘之氏  
(税理士法人 あい会計・中遠支部)

**(有)安心総合保険事務所**  
〒438-0083 磐田市富士見町3-15-1  
TEL: 0538-32-8914

創業 1975年  
社員数 9名 (パート含む)  
入会年月 2017年4月  
事業内容 生命保険、自動車保険、火災保険など各種保険の販売

# 静岡県経済産業部との意見交換会を開催！

8月5日(月) 同友会事務局

静岡県から天野朗彦経済産業部長、就業支援局長、商工業局長ら12名、同友会からは遠藤一秀会長、井上斉代表理事はじめ、山本義彦顧問(静岡大学)ら14名が出席しました。

冒頭、井上代表理事と天野経済産業部長の挨拶に続き、遠藤会長から、本年6月期の会内景況調査の結果を報告しました。

続いて今野英明政策委員長から、同友会第40回景況調査の結果に触れながら、①静岡県経済の今後の見通しについての意見交換、②常設の振興会議の設置と少なくとも年3回以上の開催ならびに傍聴者の受け入れ、会議録の公開、③人材確保施策と事業承継施策や県事業承継ネットワークの効果と評価ならびに今後の課題や展開、④県内就職希望者に対する会社見学の交通費の助成や遠方からの求職者を雇用した際の助成と制度の創設、⑤地域一体となつて若者を育てる仕組みの構築ならびにキャリア教育に携わる中小企業の情報発信の強化、活動費の助成と制度の創設、⑥県との意見交換会に本要望と関連する部署からの参加、⑦全県経営フォーラムへの県行政からの参加の7点を要望しました。

自社・業界報告は、青山達弘副代表理事(株)青山建材工業・静岡支部)、桑崎雅人氏(有)島村歯車製作所・沼津支部)の二名、青山氏からは、201



天野朗彦経済産業部長

3年までは堅調に伸びていたが、それ以降は景況感が悪い傾向が続いている。また、働き方改革の推進により、大手企業は4週8休に移行されてきている。しかし、実際に現場で施工する職人は日給月給の現状であることを報告しました。桑崎氏からは、歯車部品の需要は多岐の業界に亘るため取引企業数も多く、売上は安定しているが、自動車業界に関してはEV化の影響もあり、あまりよくない見通し。また、業界内では後継者不足で廃業も多く、幸いにも自社は安定しているが、外注先企業の廃業を課題と感じていると報告しました。

その後の意見交換では、県経済の概況に触れながら県が実施している雇用創出に向けた施策、事業承継に関する県の取り組み、高卒就職者の県内就職率の高さの要因などについてご回答いただきました。また、県中小企業・小規模企業振興基本条例の振興会議の開催回数および傍聴、会議録の公開についても検討していくとの説明がありました。

最後に知久正博副会長から、意見交換を継続するなかで県経済の動向や中小企業支援施策についてより忌憚なく意見交換できる場となつていくことへ感謝の意を述べ、閉会となりました。続けての交流会でも、率直な意見交換ができる雰囲気の中、交流が進みました。会員・行政・教育機関との交流を通じて、改めて静岡県の地域経済、地域社会のさらなる発展にむけた想いを確認しあえる場となりました。

## 〈ご参加頂いた関係機関の皆様(敬称略)〉

### ・県経済産業部

経済産業部長	天野 朗彦
就業支援局長	花井 利恭
商工業局長	杉山 俊博
政策管理局産業政策課長	齊藤 卓己
商工業局商工振興課長代理	渥美 寿之
商工業局企業立地推進課長	餅原 太一郎
商工業局商工金融課長	鈴木 洋子
商工業局経営支援課長	藤元 省悟
商工業局地域産業課長兼商業まちづくり室長	影山 敦彦
教育委員会 高校教育課班長	大澤 貢
商工業局地域産業課 班長	長谷川 美雪
商工業局地域産業課 主査	望月 晃子

### ・静岡大学

静岡大学 名誉教授/静岡同友会顧問	山本 義彦
-------------------	-------



### 参加者感想



桑崎 雅人氏

県経済産業部との意見交換会には2017年に続き2回目の参加でした。前回は憲章推進本部委員という立場で参加し、2016年に制定された静岡県中小企業・小規模企業振興基本条例の実効性のある運用と実践について、同友会が積極的に関わり地域活性化、地方創生につなげていくことの重要性を認識できました。今回の意見交換会では静岡県への要望・提言書に対して、全事項に対し県の商工業局及び担当課のトップの方から丁寧なご回答を頂き、同友会と経済産業部との関係性がより深いものになってきていると実感できました。また、学校教育・キャリア教育に関連して高卒の約90%が県内で就職している現状を知り、県内就職希望者が予想以上に多いことに驚きを覚えました。交流会でも多くの方とお話ができ、実りの多い意見交換会となりました。

桑崎 雅人氏  
(有)島村歯車製作所・県副代表理事)

# 全同友会が会勢目標を達成し5万名会員実現へ 会員増強決起集会を開催！

8月22日（木）に東京都のTKPガーデンシティPREMIUM田町にて会員増強決起集会が開催されました。すべての同友会が会勢目標を達成し、全国5万名会員を実現するために、各同友会から256名もの参加者が集いました。静岡からは6名が参加し、その中から2名の方より感想を頂きましたのでご紹介します。

会員増強決起集会は過去最高レベルの人数が集まり、その年齢層は平均60歳位の代表理事といった要職の方がほとんどでした。

まず広浜泰久中同協会長より「会員増強は、同友会のよさを会の内外に伝えていく活動です。すべての会員と事務局員がその気になって行動すれば5万名は必ず達成できます」とのあいさつがありました。その後の、昨年度会員純増49名で日本一の広島同友会、広島東支部の取り組み事例の報告では、県理事自ら率先して増強に取り組み、広島信金との連携で会員を紹介してもらった取り組みに成功。「地域の中に学校を学校の中に地域を」として子供たちに経営理念づくりを教えているというお話がありました。また、東京同友会、江戸川支部では、過去6年間で51名から123名に増強した要因は、幹事会・例会・懇親会に人を集めること、例会以外のイベントや趣味の場を

つくり、みんなに出席と居場所を提供し、労う行動から会員のやる気を引き出していったことでした。例会への集客は、担当委員会が全員へ会った時や電話、ラインで誘うことが有効とのことでした。また、島根同友会の実践報告では第二次中期ビジョンで2020年度末までに会員5000名の目標を掲げていました（2019年度3月末408名）。最後に福島同友会は、楽しく、みんなで、最後まで、をモットーに活動し、北海道同友会を参考に年誌発行を実施しました。グループ討論では、①増強dayを決めて会員が手分けして帝国データバンク50点、社員10名以上の企業を飛び込みで勧誘訪問する。②退会希望者を紹介者と役員が訪問し退会防止取組をする。③ブレジデントを購入しオプザーバーや入会見込み者に配る。④FM等に出演し同友会のPRをする。といった増強策案が出ました。

会員増強こそ最大の地域貢献であることを確認し、使命感を持ってまず理事が自ら動くことが大切だということでした。

宇佐美 健介氏  
(㈲エージェントつさみ・富士宮支部)



富土宮支部

立石克昭氏（㈱タテシヒロ美社・広島同友会代表理事）より「県理事が『いこらん』と広島同友会は『いこらん』をテーマに実践報告がありました。「いこらん」とは広島弁で、炭が熾る（赤々と火がついた状態になる）という意味。立石氏より、増強の機運を高めることについて「いこらん」という言葉を用い「いこるまでに時間がかかるので、くりかえし、くりかえし、聞きあきたというまでしつこいくらい伝えてゆくことが大切」との熱いメッセージを伝えました。

「GNP（義理と人情とパッション）から継続的増強へ」これは、当日、問題提起をされた藤田光夫氏（藤田建設工業㈱・福島同友会）の言葉です。福島同友会では、地域ごとに10%の組織率目標を掲げており、戦略的に会員増強活動や組織づくりを行っているとの部分が非常に印象に残りました。本集会の最後には中山英敬中同協幹事長よりまとめがあり、会員増強で大切な3つの事柄が挙げられました。①楽しくやる。その気にさせる。②みんなでやる。全会員が関わる。③最後までやる。あきらめない。そして「会員増強の運動には地域を元気にする力があります。全国各地で運動の火を灯しましょう」との言葉で締めくくりました。私自身が参加して、報告などから耳に残ったインパクトのある言葉をいくつかご紹介します。「同友会には経営のヒントが転がっている」「中小企業経営に必要なのは、KDDI（勤と度胸と同友会とインテリジェンス）」「とにかく、第一は自分の会社を良くすること」「同友会のために同友会をしないください」「我々が同友会の美味しそうな商品見本になる」そして静岡同友会を代表して井上斉代表理事からは「会員1200名達成します！」との力強い宣言もありました。今回の決起集会で5万名達成に向けた情熱を感じ、自分自身も実践につなげていきたいと思えました。



青山 達弘氏  
(㈱青山建材工業・静岡支部)



会場の様子

目標達成にむけた決意表明を述べる井上斉代表理事

た、東京同友会、江戸川支部では、過去6年間で51名から123名に増強した要因は、幹事会・例会・懇親会に人を集めること、例会以外のイベントや趣味の場を

# 9月・10月

## DOYU CALENDAR

9月16日(月)～10月15日(火)

9月 17日(火)	浜松例会 (19:00 ザザシティ中央館)
18日(水)	伊東例会 (19:00 ひぐらし会館)
19日(木)	志太例会 (18:30 藤枝文化センター) 榛南特別例会 (19:00 さざんか)
20日(金)	沼津例会 (19:00 プラサヴェルデ) 県組織増強委員会 (19:00 同友会事務局)
25日(水)	県理事会 (17:00 同友会事務局)
26日(木)	中遠例会 (19:00 調整中)
27日(金)	榛南研修旅行 (7:00 県東部) 会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私～」 (19:00 同友会事務局)
28日(土)	共学ゼミ (14:00 かまくら文庫)
28日(土)～ 29日(日)	第16期経営指針を創る会® (19:00 静岡ホテル時之栖)
30日(月)	三島例会 (19:00 三島商工会議所) 県政策委員会 (19:00 同友会事務局)

10月 1日(火)	若手社員フォローアップ研修 (9:30 もくせい会館)
2日(水)	総務財務委員会 (16:00～18:00 同友会事務局)
8日(火)	静岡例会 (19:00 静岡ペガサート)
9日(水)	正副代表理事会 (17:00 同友会事務局)
11日(金)	富士宮例会 (19:00 志ほ川 バイパス店) 県組織増強委員会 (中・西部) (19:00 同友会事務局)
12日(土)	御殿場支部 同友会まつり (10:00 御殿場高原 時之栖) 同友会大学 第1講 (13:30 同友会事務局)
15日(火)	沼津例会 (19:00 プラサヴェルデ)

《あなたのスケジュールノートに必要事項をご記入ください》



### ご案内 10月1日(火) 若手社員フォローアップ研修を開催します!

☆若手社員のスキルアップ・仲間づくりにつながる研修です! ぜひご参加ください

**日時:** 10月1日(火) 9:30～17:00 **会場:** もくせい会館 (静岡市)

**参加費:** 会員企業受講生1名につき6,000円 (昼食代、資料代含む)

**内容:** ビジネスマナー・報連相・対人応対研修など

**追加申込締切:** 9月24日(火)

申し込みを希望される方、詳細を知りたい方は同友会事務局まで  
お気軽にお問い合わせください!



### ◆ 静岡県中小企業家同友会会費 口座振替のお知らせ ◆

口座振替日/令和元年10月7日(月)

振替会費/令和元年度下期会費  
(令和元年10月～令和2年3月)

振替額/県・支部既定の通り

上記の通り、会費をご指定の口座から振替させていただきますので、ご確認をお願い致します。

なお、領収については、通帳への記帳をもって代えさせていただきます。

納入代行会社は「SMBCファイナンスサービス(株)」、通帳印字は「SMBC(ドウユウカイ)」名で引き落としされますのでご注意ください。



静岡同友会  
Facebookページ



静岡同友会Facebookページで、会員企業訪問の様子や各支部例会の案内を掲載しています。ぜひご覧ください!